

**日本骨髄バンクの現状（2002年5月末）詳細は別添一覧を参照下さい。**

	前月	当月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,791	2,533	152,339	187,863
患者登録者数	131	135	1,691	12,253
骨髄移植例数	71	71	-	4,013

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

**① 第22回通常理事会・評議員会開催。2002年度事業計画・予算成立**

3月26日(火)、当財団第22回通常理事会、評議員会が公開で開催され、(1)寄付行為の改正案(事務所の移転、常務理事の位置付け変更)、(2)決算見込みに基づく平成13年度第2次補正予算案、(3)基本財産2億円取崩し承認に基づく厚生労働省健康局長からの照会に対する回答案(財務運営特別委員会の設置案、委員会規定の改正案を含む)、(4)平成14年度事業計画案、(5)患者負担金の改定案、(6)平成14年度収支予算案、(7)患者負担金等支援基金の設置案、(8)評議員の交代選任、監事の交代選任、などが審議されました。審議の結果、いずれも原案どおり承認されました。審議事項はすべて公表しておりますので、資料が必要に方は当財団事務局にお申し出ください。

**② 中央事務局及び関東地区事務局の移転についてのお知らせ**

当財団中央事務局、関東地区事務局が2002年5月7日(火)より下記に移転します。電話番号、FAX番号、案内図は<http://www.jmdp.or.jp/newmap.htm>をご参照ください。

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3丁目19番地 廣瀬第2ビル 7階

移転期間：2002年5月2日(木)～5月6日(月)

移転期間中は、原則として、電話・FAXはつながりません。緊急のご連絡は、5月2日(木)午後9時から5月6日(月)までの間、次の番号へお願いいたします。

代表電話 03-5280-8111。各日とも午後6時から翌朝午前9時までの時間帯は留守番電話へメッセージをお願いすることとなります。FAXの送信はシステム等の作業の都合上、この期間の発信については避けていただきますようお願いいたします。5月2日(木)の午後4時まで、従来の電話番号への通話が可能ですが、若干、つながりにくくなることも予想されますので、何卒、ご了承ください。郵便、宅急便等につきましても、この期間を避けていただきますようお願いいたします。

新事務局業務開始日：2002年5月7日(火)午前9時

移転に関する問い合わせは、当財団総務部まで。(電話03-3355-5041)

### 3 非血縁者間骨髄移植4000例到達。ドナー登録者数にも好転の兆し

3月27日、日本骨髄バンクを介する非血縁者間骨髄移植が3例実施され、累計例数が4000例を超え、4002例となりました。件数には国際協力による168例も含まれています。(海外のドナーから国内の患者への骨髄移植107例、国内のドナーから海外の患者への移植61例)1993年1月28日に第1例目の移植が実施されて以来、9年2カ月を経過しての4000例突破——ドナーとなられた多くの方々の献身的行為と、皆さまのご理解とご協力の賜物であり、心から厚くお礼を申し上げます。2001年度の移植件数は749件(前年比4.8%増)で、移植成績も欧米諸国との比較において良好な成績が得られています。一方、2001年度の新規ドナー登録者数は2万4238人(前年比54.7%)で、取消者数を除いた年度登録者実数は1万6466人と前年の2倍の伸びとなりました。また月間ドナー登録者数は2000年10月から02年3月まで18カ月連続で前年同月を上回っており、低調ななかにも好転の兆しがみられます。この背景にあるのはドナー登録場所と受付方法に関する大きな構造転換です。年度登録者に占めるドナー登録会での登録者は43.7%、1万580人にのぼります。そして、このなかの5750人の方々が献血併行登録会で登録されています。昨年度、集団登録会は212回、献血併行登録会は480回開催され、登録者増加の大きな推進力となったことは間違いありません。本年度は2000回程度開催されるものと予測しており、すでに兵庫県など数府県で具体的な計画が示されています。

### 4 3月の登録会

3月のドナー登録者数は2533人で、取消者数は517人、実質増加数は2016人という実績でした。登録会は48回実施され(うち献血併行型37回)、合計783人の方にご登録をいただきました。都道府県別の登録会の開催数は、愛知8回、沖縄、東京6回、兵庫4回、福島、千葉3回、新潟、富山、和歌山2回、岩手、宮城、広島、山口、鹿児島、神奈川、大阪、長崎、栃木、奈良、福岡、北海道が1回でした。

### 3 非血縁者間骨髄移植4000例到達。ドナー登録者数にも好転の兆し

3月27日、日本骨髄バンクを介する非血縁者間骨髄移植が3例実施され、累計例数が4000例を超え、4002例となりました。件数には国際協力による168例も含まれています。(海外のドナーから国内の患者への骨髄移植107例、国内のドナーから海外の患者への移植61例)1993年1月28日に第1例目の移植が実施されて以来、9年2カ月を経過しての4000例突破——ドナーとなられた多くの方々の献身的行為と、皆さまのご理解とご協力の賜物であり、心から厚くお礼を申し上げます。2001年度の移植件数は749件(前年比4.8%増)で、移植成績も欧米諸国との比較において良好な成績が得られています。一方、2001年度の新規ドナー登録者数は2万4238人(前年比54.7%)で、取消者数を除いた年度登録者実数は1万6466人と前年の2倍の伸びとなりました。また月間ドナー登録者数は2000年10月から02年3月まで18カ月連続で前年同月を上回っており、低調ななかにも好転の兆しがみられます。この背景にあるのはドナー登録場所と受付方法に関する大きな構造転換です。年度登録者に占めるドナー登録会での登録者は43.7%、1万580人にのぼります。そして、このなかの5750人の方々が献血併行登録会で登録されています。昨年度、集団登録会は212回、献血併行登録会は480回開催され、登録者増加の大きな推進力となったことは間違いありません。本年度は2000回程度開催されるものと予測しており、すでに兵庫県など数府県で具体的な計画が示されています。

### 4 3月の登録会

3月のドナー登録者数は2533人で、取消者数は517人、実質増加数は2016人という実績でした。登録会は48回実施され(うち献血併行型37回)、合計783人の方にご登録をいただきました。都道府県別の登録会の開催数は、愛知8回、沖縄、東京6回、兵庫4回、福島、千葉3回、新潟、富山、和歌山2回、岩手、宮城、広島、山口、鹿児島、神奈川、大阪、長崎、栃木、奈良、福岡、北海道が1回でした。

## 国際協力事業の状況(1997年4月～2002年6月末)、HLA照合サービス状況期間

日本 米国	予備検索576件(適合402件) 登録315件 移植84件
米国 日本	予備照会1195件(適合132件) 登録92件 骨髄提供2件
日本 台湾	予備検索415件(適合88件) 登録137件 移植16件
台湾 日本	予備照会1件(適合0件) 正式登録1件 骨髄提供の実績なし
日本 韓国	正式登録144件(適合26件) 移植7件
韓国 日本	正式登録360件(適合144件) 骨髄提供46件(1月1件、2月3件、3月1件)
その他の国 日本	日本 正式登録216件 提供累計10件(香港5件、英国2件、オランダ1件、オーストラリア1件、2月ブラジル1件)

## その他

- ・骨髄バンクを介して、2回骨髄提供された方 45人
- ・DLT(ドナーリンパ球輸注。DLIとも呼ばれる)療法の実施件数 31件